



# 2022年度 事業報告

公益財団法人東京YWCA

## 目次

東京YWCA 2022 年度基本方針・重点課題.....	1
Ⅰ 平和と人権事業.....	2
Ⅱ 青少年育成事業.....	5
Ⅲ 女性の健康事業.....	8
Ⅳ 社会福祉に資する事業.....	9
Ⅴ 非営利機関・団体への施設貸与事業.....	14
Ⅵ 東日本大震災被災者支援事業.....	14
Ⅶ 収益事業および共益的な事業.....	14
Ⅷ その他.....	16
2022 年度公益財団法人東京YWCA組織図.....	17
理事・監事・評議員.....	17
財務諸表.....	18
事業を行っている主な拠点	

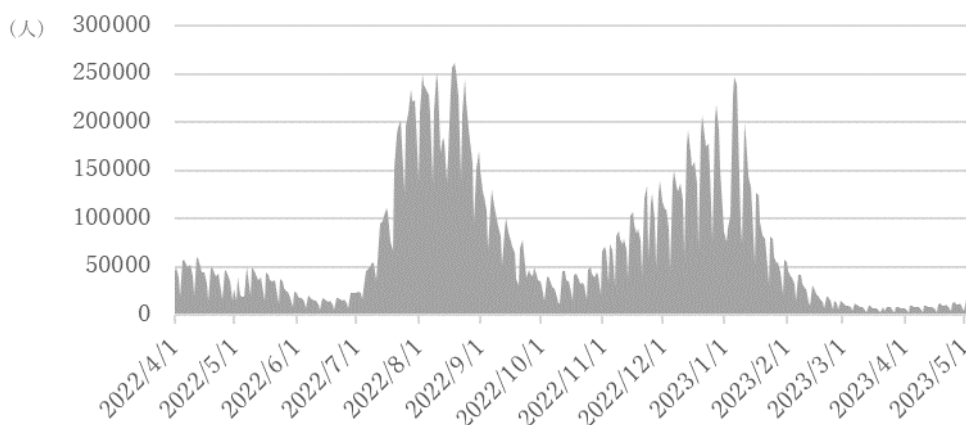
### ■事業報告補足 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について

2019 年 12 月に中国武漢市で確認された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、新型肺炎として瞬く間に世界中に広がり、世界保健機関（WHO）は 2020 年 3 月 11 日にパンデミック（世界的な大流行）を表明した。日本では 2020 年 1 月に国内初の症例が確認されて以来、2022 年冬には感染の第 8 波が起こるなど感染拡大を繰り返し、2023 年 4 月末時点での累計感染者数は 3300 万人を超え、死者は 74000 人を超えている（厚生労働省データによる）。

2022 年度中も感染者数は増加したが、政府から緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されることはなく、感染防止対策を取りながら社会生活が継続された。日常生活はオンラインを活用しながら、感染拡大前のように戻りつつある。2022 年 10 月から外国人の新規入国制限の見直しに基づき、外国人観光客の入国が大幅に緩和された。2023 年 5 月には新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが季節性インフルエンザなどと同じ「5 類」に移行された。

東京 YWCA では、各委員会などの会議はオンラインと対面での開催を使い分けながら実施し、各種プログラムもオンラインの活用が進むと同時に、感染防止に留意しつつ本来の姿である対面での実施ができたものもあった。しかし、感染急拡大時、特に夏の第 7 波の際には、予定されていたキャンプの中止など多くのプログラムが中止・休止となった。一方で、社会福祉事業の保育園・学童クラブ・療育・介護事業は行政からの要請で途切れることなく継続した。

日本国内の新規感染者数（1 日ごと）



厚生労働省のデータからグラフ作成

# 東京YWCA 2022 年度基本方針・重点課題

東京YWCAの2022年度の基本方針・重点課題は、日本YWCAのビジョン(※)をふまえ、以下のとおりであった。

- 基本方針**
1. 非戦の立場に立ち、平和憲法を護り、活かす。
  2. 核兵器のない世界、原発のない社会を目指す。
  3. 持続可能な環境の実現に努める。
  4. いのちを尊び、平和を願い求める青少年を育てる。
  5. 個人の尊厳を重んじ、支え合う社会を目指す。

- 重点課題**
- ・ 危機意識を共有し、憲法改悪阻止のために行動する。
  - ・ 女性の人権を意識し、行動する。
  - ・ 多様性を受容できる寛容な社会に向けて行動する。
  - ・ 脱原発のために行動する。
  - ・ 地球温暖化抑制のために行動する。
  - ・ ユースが活動しやすい環境を整える。

東京YWCAの定款の目的にもある「すべての人びとのために自由と尊厳、正義と平和を実現すること」を達成するために、会員総会で決めた「基本方針・重点課題」に沿って、日本YWCA、世界YWCAと連携し、キリスト教基盤に立って、広範にわたる事業活動に取り組んだ。

2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻はもとより、多くの国で危険な状況が続く中、日本政府は防衛予算を増額し反撃能力を備えることを決め、かつ脱炭素を旗印に原発推進に躍起になっている。非戦、非核、非暴力で平和をつくろうとするYWCAとは対極のうごきであり、だから今こそ、力を寄せ集め、小さな声をあげ続けた。そして一人ひとりがかけがえのない存在であることを信じ、青少年、女性、社会で生きづらさを抱えた人に寄り添って、命と人権を守るために後述の通り各事業活動をおこなった。

新型コロナウイルスへの対策を講じての活動も丸3年、安全を第一に、新たなスタイルを模索しながら、多くの参加者、支援者、協力者、会員、職員により、2022年度の事業が展開できた。

## (※)日本YWCA第33総会期 主題聖句・ビジョン・ミッション・バリュー

- 主題聖句** 平和を実現する人々は幸いである —マタイによる福音書5章9節
- ビジョン** 女性がリーダーシップを発揮し、人権・平和・環境を大切にす社会
- ミッション** 若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。
- バリュー**
1. キリスト教基盤  
すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣（なら）って行動します。
  2. 平和・環境  
アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。
  3. 人権  
人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくりまします。
  4. セーフ スペース  
会員（ボランティア）が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。

# I 平和と人権事業 (公益目的事業 事業番号: 公1)

この事業は、平和、非暴力、非核、非戦を訴え、人権が尊重され、すべての人が共に生きる世界の実現を目指し、社会で不当な圧力を受けやすい人々を支援する事業です。

## 1. 日本で学ぶ外国人留学生支援事業

1人の留学生と1人の東京YWCA会員(母親)による家庭交流は、2022年度新規の組み合わせを入国規制が緩和され留学生が日本に入国しはじめた秋に実施した。体調を崩しアルバイトが出来なくなった組み合わせ留学生があり、留学生資金から5万円の供与を行った。

留学生相談室は、相談員養成ができなかったため休室した。留学生からの相談や学校からの問い合わせは、事務局が対応した。留学生談話室は、土曜日にアルバイトをする留学生のために平日夕方の開室を試みた。好評だったので、次年度も続けることになった。

## 2. 留学生助成事業

東京YWCA「留学生の母親」運動奨学金は、4人に支給した。4人の抱負は、介護のリーダーを目指す、都市デザインの面から住やすい社会を作る、日本で働く外国人を支援する税理士になる、社会福祉士になって子どもの貧困対策の仕事に就く等であった。10月に、奨学生の前期の様子を聞く報告会をハイブリッドで開催した。夏休みに勉学に励んだこと、アルバイトや介護施設見学をしたこと等について報告を受け、参加した国内外の先輩留学生からは大学院進学への勉強方法や日本語力の向上の技術等アドバイスを受けた。1月には寄付者を招き報告会を開いた。特別奨学金は行わなかった。

## 3. 中国帰国者日本語支援事業

日本語学習サロンは、主に日本語教室を修了した高齢の帰国者を対象に日本語の運用力を身につけ、社会参加をうながすことを目的に8月を除き、年間を通して、月に各1回対面で開催した。帰国者の参加は減少傾向にある。

## 4. 平和をつくるキャンペーン

平和、非暴力、非核、非戦の啓発活動は、6月に、「なんでお空からおちてくるの」と題して普天間バプテスト教会牧師より緑ヶ丘保育園・米軍ヘリ落下物事故について聞き、また、2月には憲法カフェに「原子力行政を問い直す宗教者の会」事務局の一人である、内藤新吾牧師(日本福音ルーテル穂台教会)を招き、「原発政策の暴走の背景～その理由と、私たち

にもできること」と題して話を聞いた。

Rise Up! School Visits (RUSV) は、世界YWCA発行の「若い女性の変革をもたらすリーダーシップのためのグローバル・ライズ・アップ・ガイド」をもとに、ユースのチームが包括的性教育のワークショップを中高生に提供している。日本YWCAが主催した8月の中高YWCA全国カンファレンスと、11月の会員フェスタに「性的同意」をテーマにワークショップを提供した。また4月には性被害にあった経験者への対応をカウンセリングの専門家から学ぶことができた。

HIV/AIDS 啓発のためのキャンペーンは、今年度は具体的な取り組みは実施しなかった。

## 5. 平和と人権に関する人材育成事業

支援者エンパワメントプログラムは、DV被害者に、より良い支援を届けるために、DV被害者を支援する支援者を育成・サポートする取り組みを行っている。今年度は、兵庫県明石市からの依頼を受け明石市主催で「DVサバイバーと協働するための支援者トレーニング」とそのフォローアップ研修を実施した。支援者サロンは3年ぶりに再開。また、出張研修は自治体(1か所)、宿所提供施設(2か所)に実施した。

インターンシッププログラムは、3人の学生を受け入れ、主にDVやDV被害者支援について学びを深める場を提供した。HIV/AIDS 啓発のための人材養成は、今年度は具体的な取り組みは実施しなかった。

※支援者エンパワメントプログラムは、運営費の一部について「令和4年度東京ウィメンズプラザ配偶者暴力防止等民間活動助成事業」の助成を受けた。

※「サバイバー」:本事業では、DVを経験した人を「被害者」ではなく、試練の中で生き延びている力強さを表す「サバイバー」という言葉で表現している。

## 6. NPO/NGO団体への語学支援

例年、継続して依頼を受けている団体から英訳・和訳の依頼を受け、ボランティアが期限までに完成させることができた。日本YWCAから世界YWCAが発行している資料の翻訳が多く、オンラインで開催された会議の通訳も担った。英訳スキルアップ講座は年2回開催した。

I-1 日本で学ぶ外国人留学生支援事業

家庭交流

「組み合わせ」内訳(人)

会員	19
留学生	20

(留学生2人担当の会員 1)

「組み合わせ」の会員内訳(人)

新会員	5
2年以上の会員	14

「組み合わせ」の留学生内訳(人)

国費生 (文部科学省)	4
日本語学校	4
専門学校	0
大学	7
大学院	5

留学生組み合わせ出身国・地域

国・地域	人数	女性	男性
中国	14	9	5
ベトナム	4	3	1
台湾	2	1	1
計	20	13	7

留学生資金貸与・供与

貸与	前年度より継続返済	0
	新規	0
	長期貸与	0
	短期貸与	0
供与		1

支援事業の年間プログラム

	日にち	延参加者数			
		会員	留学生	一般	合計
勉強会「不安を抱える留学生に寄り添うということ」	9/17	21	-	-	21
「組み合わせ」のオンライン説明会(留学生対象)	10/5	5	17	-	22
「組み合わせ」のオンライン面接(留学生対象)	10/20、22、24	9	18	-	27
「組み合わせ」の対面面接(留学生対象)	10/22	2	2	-	4
初めての交流へのガイダンス(2022年度新入会員対象)	11/19	7	-	-	7
対面の会	11/19	30	19	6	55
留学生による日本語発表会(オンライン)	12/10	29	10	3	42
母の会「地域について考えよう」	2/4	47	-	-	47
卒業お祝い会(オンライン)	3/4	13	6	-	19

	開室日数	ボランティア数	相談回数
留学生相談室	-	-	-

	日にち	参加留学生	受け入れ家庭
ショートホームステイ(新型コロナにより中止)	-		
ホームビジット(新型コロナにより中止)	-		

	延回数	延ボランティア数		延参加者数		
		会員	一般	会員	留学生	一般外国人
留学生談話室(日本語支援)	32	208	57	0	137	0
日本語個別支援	966	966	0	0	966	0

I-2 留学生助成事業

「留学生の母親」運動奨学金

応募者数	109
支給奨学生内訳[国・地域別]	
ベトナム	1
中国	1
韓国	1
台湾	1
計	4

	日にち	参加者数			
		会員	留学生	一般	合計
第1回奨学生報告会	7/16	12	5	0	17
第2回奨学生報告会	10/15	7	7	3	17
奨学生の集い	1/21	13	3	2	18
奨学生の集い(追加実施)	2/18	3	1	0	4

※オンライン開催。第2回奨学生報告会のみ会場とのハイブリッド。

「留学生の母親」運動 特別奨学金

※実施せず。

I-3 中国帰国者日本語支援事業

日本語サロン

延回数	延ボランティア数	延参加者数
11	38	47

I-4 平和をつくるキャンペーン

クリスマス

	日にち	回数	場所	参加者数
青葉のまつり	12/3	1	東京YWCA会館	15
Christmas for Peace	12/10	1	オンライン	16
センタークリスマス(板橋センター)	12/7	1	板橋センター	25
センタークリスマス(国領センター)	新型コロナにより中止	-	国領センター	-
センタークリスマス(武蔵野センター)	12/14	1	武蔵野センター	10

憲法カフェ

テーマ	日にち	講師	場所	参加者数
第39回「原発政策の暴走の背景」	2/18	内藤新吾	東京YWCA会館/オンライン	65

講演会

テーマ	日にち	講師	場所	参加者数
「なんでおそらからおちてくるの」	6/25	神谷武宏	オンライン	20
「もし子どものときに戦争があったら」(むさしの市民平和月間参加プログラム)	11/19	川満彰	オンライン	15

その他のプログラム

テーマ	日にち	講師	場所	参加者数
「SNSを沖縄でいっぱいしよう！」キャンペーン	6/14~6/25	-	-	-
多文化カフェ(むさしの市民平和月間参加プログラム)	12/4	-	武蔵野センター	22

Rise Up! School Visits

テーマ	日にち	ファシリテーター	場所	参加者数
カウンセリング勉強会	4/9	講師:具ゆり	オンライン	20

他団体との協力

	配信期間
0422市民クリスマス(オンライン礼拝)	12/23~1/31
0422市民クリスマス(参加教会・団体の日めくり動画)	11/29~1/31

I-5 平和と人権に関する人材育成事業

支援者サロン(DV被害者支援者の交流の場)

延回数	延参加者数
2	9

支援者トレーニング

	委託元	延回数	延参加者数
支援者トレーニング(2日間/計14時間)	明石市	1	24
支援者トレーニングのフォローアップ研修	明石市	1	12

※東京YWCA主催の支援者トレーニング(7/23~24)は新型コロナにより中止。

オーダーメイド研修

依頼元	回数	内容	延受講者数
社会福祉法人東京援護協会東が丘荘	3	①無力感と疲労感に向き合う、②若年女性の支援について、③怒りとコントロール	28
社会福祉法人 特別区社会福祉事業団 宿所提供施設 淀橋荘	2	①女性支援のしくみについて、②若年女性の現状と支援について	10
埼玉県(婦人相談センター・東部中央福祉事務所)	1	職員研修「DVサバイバーの相談を受ける～ロールプレイ実践と検討～」	37

内閣府「DV被害者等セーフティネット強化支援パイロット事業」(主催:パープル東京)

内容	回数	延受講者数
支援者支援講座「ビオダンサ」	2	12

※パープル東京は都内の民間支援団体のグループで、東京YWCAはそのメンバーとして支援者支援講座を担当した。

インターンシップの内容

勉強会	「DVの基礎」、「DVの被害者・支援者の声を聴く」
交流会	「日本の女性が置かれている状況」、「ジェンダーについて」、NVEC訪問
その他	オリエンテーション、MIW祭り参加、「女性に対する暴力をなくす運動」啓発活動、NVECフォーラム参加、最終発表会

I-6 NPO/NGO団体への語学支援

依頼団体	件数	依頼内容
公益社団法人Civic Force	3	ニュースレターvol.26・27・28 英訳
認定NPO法人国境なき子どもたち	2	HP活動ニュース、2021年次報告書 英訳
日本キリスト教協議会(NCC)	1	世界祈禱日スライド説明文 和訳
ちひろ美術館・東京	1	外国語を母語とするファミリー向けワークショップ 通訳
公益財団法人日本YWCA	8	会議・ワークショップの通訳3件、報告書等の和訳5件

	延回数	延講師数	延参加者数
翻訳研修会	2	2	37

## Ⅱ 青少年育成事業 (公益目的事業 事業番号：公2)

この事業は、子どもたちの固有の人格をかけがえのないものとして尊重し、他者と共に生きるグローバルな視点をもった人として全人格的に成長していくことを支援する事業です。

### 1. 教育キャンプ

7月にキャンプ場開け作業で施設清掃や受け入れ準備をして参加申込みを開始したが、7月下旬に感染者数が増加したため子ども対象のキャンプを中止した。現地集合の「ゆかりステイ」は4期実施した。「ゆかりステイ1期」では福島の高重心心障がい児の家族を招待した。中高生ガールズスプリングキャンプを3月に実施し、数年ぶりに野尻キャンプ場で子どもが参加するキャンプを行うことができた。

昨年度から延期していた野尻キャンプ90周年記念プログラムは、長野での記念キャンプは中止したが、東京YWCA会館カフマンホールで「野尻キャンプ90周年のつどい」を10月に実施し、小学生から90代まで数年振りに野尻の仲間が集い、記念礼拝ののち歴史をふりかえるひとときを過ごした。

スキーキャンプは、12月に冬休みびよんびよんスキークラブと中高生スキーキャンプを黒姫高原スノーリゾートで、3月に春休みびよんびよんスキークラブを菅平高原スノーリゾートで実施した。新しく3名が学生リーダーで参加し、冬春と続けて参加する学生もいたので経験を積むことができた。

### 2. 体験学習

子ども会は、子どもクラブ「ももたろう」の登録者減少に伴い、2019年度から休止している。

自然体験は、家族対象の日帰り自然体験プログラムを八王子滝山里山保全地域で実施した。5月に田植え体験、10月に稲刈り体験、11月に脱穀体験、育てたお米で飯盒炊飯をする「里山Day Camp」を1月に実施した。講師の解説で家族ごとに自然と触れ合うプログラムを展開した。継続して参加する家族も多く、体験活動を通して子ども同士、親同士で交流することができた。

青少年水泳は、心身の健全な成長をめざし泳力を養うことを目的に、東京YWCA会館のプールにおいて、スイミングとアーティスティックスイミング(以下AS)の講習を実施した。ジュニア3クラスは満員となった。7月には自分の身を守るための浮き方などを体験し、水の安全について学ぶ機会を持った。子どもたちは楽しみながら練習を重ね、泳力が向上した。短期講習は感染リスクを軽減するため、定員と期間を縮小して、夏休みと春休みに実施した。ティーンズは満

員となった。泳ぐ機会が得られなかった高学年の子どもの参加が増えた。泳力別のグループで目標に挑戦しながら泳力を養った。ジュニアASは、昨年に比べると参加者が減少した。初心者丁寧に指導しながら各期の最終日には練習の成果を発表した。

### 3. 学習支援

日本語を母語としない親を持つ子どもたちへの日本語・学習支援「いちごの部屋」は、毎週木曜と土曜に武蔵野センターでの対面支援を中心にオンラインでも並行して実施した。

小学校高学年から中高生の参加希望が増えているため、今年度対象年齢を6歳～13歳から6歳～18歳へと変更した。保護者からの支援希望も増えてきている。

「いちごの部屋キャンプ」は中止したが、3年振りに体験プログラムとしてクリスマス会を実施した。

支援ボランティアに9人が新規登録した。活動に参加した31人中11人が学生で、ユースの力を活かすため新たに「いちごの部屋ユース会議」を立ち上げ、ニューズレター作成や担当する子どもの支援についての課題を共有した。日本語指導の研修と教材活用の研修をオンラインで実施した。

昨年度に引き続き、大学の日本語教員養成課程の授業に委員1人と職員がゲスト講師として参加した。

\*運営費の一部を「三菱財団×中央共同募金会～新型コロナウイルス感染下において困窮する人々を支援する～外国にルーツがある人々への支援活動応援助成事業」助成金を受け実施した。

### 4. 青少年リーダー養成

春のワークキャンプでは、雪害をうけた木や倒れそうな木を伐採し、落ち葉掃きや溝掘りなどキャンプ場内の清掃をした。夏のカヌーキャンプでは学生も参加した。

12月のスキーキャンプ準備会にあわせて、東京で「自然とのつきあい方」「安全と救急」の研修、「歌とゲーム」「クラブ」を皆で体験するプログラムを実施した。宿泊を伴うリーダー養成研修は中止しているため、元キャンパーでリーダー希望の学生が実践研修できる現場がなく、若手リーダーの育成が課題である。

II-1 教育キャンプ

\*人数は実数

プログラム	開始日	日数	参加者数			リーダー・講師数	参加人数合計
			女	男	合計		
教育キャンプ(東京YWCA野尻キャンプ場)							
小学生 アドベンチャーキャンプ (新型コロナにより中止)	8/6	-			0		0
中高生 ガールズキャンプ (新型コロナにより中止)	8/11	-			0		0
シスターフッド (参加申込なしのため中止)	8/16	-			0		0
野尻でファミリーステイ (新型コロナにより中止)	8/13	-			0		0
中高生 ガールズスプリングキャンプ	3/26	2泊3日	3	0	3	3	6
ファミリーを対象としたキャンプ							
ゆかりステイ1期	7/28	2泊3日	2	5	7	3	10
ゆかりステイ2期	8/9	2泊3日	2	7	9	2	11
ゆかりステイ3期	8/23	2泊3日	9	1	10	0	10
ゆかりステイ4期	8/28	2泊3日	1	2	3	0	3
教育キャンプ(野尻キャンプ場以外)							
冬休み ぴよんぴよんスキークラブ	12/26	3泊4日	6	10	16	9	25
冬休み 中高生スキーキャンプ	12/26	3泊4日	3	3	6	2	8
春休み ぴよんぴよんスキークラブ	3/26	3泊4日	11	7	18	9	27
他団体からの委託キャンプ *参加者は男女総数							
なし							
野尻キャンプ場を提供しYWCAのキャンプリーダーを派遣して行うキャンプ *参加者は男女総数							
竜ヶ崎教会キャンプ	8/22	3泊4日	18	4	22	5	27

その他のプログラム

	日にち	場所	参加者数
野尻キャンプ90周年のつどい	10/8	東京YWCA会館	63

II-2 体験学習

子ども会

	延回数	延ボランティア数	延参加者数
子どもクラブもたろう(国領)	休止		

みんなで楽しむアウトドアライフ(親子対象日帰り自然体験)

※実施場所はいずれも八王子滝山里山保全地域。

プログラム名 (実施場所)	日にち	参加者※※					リーダー・講師数	参加人数合計
		女1	男1	女2	男2	合計		
どろんこ田植え体験	5/22	11	5	10	4	30	3	33
みんなでザクザク! 稲刈り体験	10/2	10	6	10	5	31	4	35
脱穀体験&お正月のわら飾りを作ろう	12/2	5	2	5	3	15	3	18
里山Day Camp	1/22	6	6	4	8	24	2	26

※※女1、男1は18歳未満。女2、男2は18歳以上。



青少年水泳

	延回数	延参加者
ジュニアスイミング	113	1961
ジュニアアーティスティックスイミング	41	218
ティーンズスイミング	37	502
ジュニア短期講習(夏)	10	99
ジュニア短期講習(春1期)	3	39

II-3 学習支援

日本語を母語としない親を持つ子どもとその保護者を対象にした日本語および学習支援

支援した人の数

	前年度から 継続	新規登録	合計
子ども(6歳から13歳)	11	4	15
子ども(その他の年齢、および14歳から18歳)	1	5	6
保護者	1	4	5

ボランティア登録数

	登録数(3月末)
ボランティア(会員)	10
〃 (一般)	23

ボランティア研修会

	延回数	延講師数	延参加者数
	2	2	24

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	子ども(6歳から13歳)	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	14	14	-
	〃 (14歳から18歳)				5	5	6	6	6	6	6	6	6	-
	〃 (その他の年齢)	3	5	5										-
実際に支援した子ども	子ども(6歳から13歳)	12	13	11	9	11	10	9	11	11	11	11	11	130
	〃 (14歳から18歳)				4	4	4	4	4	4	4	4	5	37
	〃 (その他の年齢)	3	4	4										11
開室日数		8	7	9	9	5	9	9	7	8	7	5	9	92
参加者(延数)	子ども(6歳から13歳)	38	37	43	36	22	27	33	22	24	21	16	37	356
	〃 (14歳から18歳)				16	8	18	15	10	14	12	12	16	121
	〃 (その他の年齢)	4	11	15										30
	保護者	0	0	0	1	0	0	1	2	6	2	2	4	18
ボランティア(延数)	会員	18	24	31	31	18	23	21	12	16	15	8	20	237
	一般	38	32	38	35	10	28	32	30	25	26	18	39	351

II-4 青少年リーダー養成

	期間・回数	参加者数※ (宿泊ないものは延数)					リーダー・講師数	参加人数 合計
		女1	男1	女2	男2	合計		
春のワークキャンプ	4/29~5/6	1	0	9	9	19	0	19
はじめてのカヌー	7/30~8/1	0	0	4	0	4	3	7
Day Camp	12/10	0	0	14	3	17	4	21

※女1、男1は18歳未満。女2、男2は18歳以上。

### Ⅲ 女性の健康事業 (公益目的事業 事業番号：公3)

この事業は、運動の機会を必要とするすべての女性の心身の健全育成をはかることを目的とする事業です。

#### 1. 女性の健康づくり

サポートコースでは、体力の維持・向上、生活習慣病の予防などの目標に向けて運動を継続できるよう一人ひとりを支援した。定期的に運動カウンセリングを行い、体組成・握力測定の結果から生活習慣の改善点などについてアドバイスした。サポートコースメンバーの在籍は徐々に増え、多くの人が運動を継続した。9月と3月には健康セミナーを実施し、足のセルフコンディショニングを学ぶ機会をもった。早々に満員となり、足の不調を抱える中高年女性のニーズの高さがかがえた。からだところの健康相談は体調、仕事、家族などの相談に応じた。

#### 2. 疾患後の女性の健康づくり

乳がん手術後の女性のための「アンコア」は、定員を縮小し10月に3年ぶりに開講した。参加者は講義と運動に積極的に参加し、お互いの経験を共有して交流を楽しんだ。ほとんどの人が同じ体験をした人と知り合う事ができて良かったと話しており、趣味やスポーツを再開した人もいた。

腰・膝の関節痛の予防、改善のための水中運動（ディープウォーターウォーキング）は1クラス増設して、通年で4ク

ラス実施した。ニーズは高く満員となった。参加者の多くが運動を継続することで関節痛の軽減などの効果を感じており、散歩や旅行など外出できるようになったとの声もあった。

#### 3. 障がい児・者の健康づくり

肢体不自由者水泳（あひるの会）は、4月にボランティア対象のオリエンテーションを実施し、5月よりスタートした。感染が急拡大した8月は中止したが、概ね計画通り実施できた。ほとんどの参加者が休まずに参加してプールでの運動を楽しんだ。新規ボランティアが2人加わった。

発達に遅れや偏りのある女兒の親子水泳（かめさんくらぶ）は、5月から満員の8組でスタートした。子どもたちはそれぞれの課題に挑戦し、楽しみながら泳力を養った。新規ボランティアが2人加わり、母親がプールに入れない時に子どもをサポートした。次年度に向けてボランティアを募集した。

プールでの運動を個別指導する「アクアサポート」は継続者1人が定期的に利用した。

\*肢体不自由者水泳は、社会福祉法人東京都共同募金会からの助成金を運営費の一部として実施した。

#### Ⅲ-1 女性の健康づくり

サポートコース利用者数

延入会者	延退会者	3月末在籍者
53	43	240

健康セミナー

テーマ	回数	延参加者数
足のセルフコンディショニング	2	49

健康相談

種別	延回数	延利用者数	種別	延回数	延利用者数
からだの健康相談	3	3	ところの健康相談	4	4

#### Ⅲ-2 疾患後の女性の健康づくり

	延回数	延参加者数
乳がん手術後の女性のためのプログラム	8	78
腰・膝の関節痛の予防、改善のための水中運動	171	2166

#### Ⅲ-3 障がい児・者の健康づくり

	延回数	延参加者数	延ボランティア数
肢体不自由水泳（あひるの会）	81	138	136
発達に遅れや偏りのある女兒の親子水泳	20	207	26
アクアサポート	41	41	

## IV 社会福祉に資する事業 (公益目的事業 事業番号：公4)

この事業は、一人ひとりが尊重され、その人らしく生きることのできる社会の実現を目指し、高齢者、障がい児・者とその家族、子育て家庭等の福祉の増進に寄与する事業です。

新型コロナウイルス感染症への対応も3年目を迎えた。ここでははじめに、東京YWCAがご寄付と法人の収益により実施する事業を報告する。

### 公4-1. 療育事業 (NPO 支援)

青年期に入り成人した障がいをもつ人に対しては、NPO 法人東京YWCA福祉会が行う就労継続支援B型事業に東京YWCA板橋センターの一部施設を無償貸与し、職員や会員、ボランティアが事業に協力、支援を行った。

### 公4-2. 発達支援相談事業

発達支援相談事業は、心理の専門家による「子ども発達支援室」を実施した。発達に課題やニーズがあると指摘されたものの、目の前の子どもへの関わりに戸惑いや悩みを持つ保護者に対し、具体的な助言の場として役割を果たした。

### 公4-3. 発達支援体験事業

板橋センターで行う「にじいろ教室」は、従来の陶芸、ヨガ&ダンス、絵画・造形、料理に加え体操のクラスを新設。

国領センターでは、サッカークリニックを継続実施。新型コロナの影響で活動を控えていた参加者が戻り、コーチと企業ボランティアの協力体制の下、毎回充実した内容で実施することができた。音楽療法と陶芸は、対象となる利用者の参加がなく、オーバーエイジを受け入れ数年が経過したため、今年度は休止した。

### 公4-4. 障がい児家族支援体験事業

障がいのある兄弟姉妹をもつ児童と家族を対象に、障がい児「きょうだいの会」の活動を実施した。きょうだい児対象のプログラム「きらりんこ」は、昼食を含む1日プログラムを3年振りに実施。おやつ作りの活動も行い、「学校で調理実習がないから久しぶり」との声もあり新型コロナによって制限された子どもたちの体験の幅を広げる役割も担った。学生・社会人のボランティアリーダーが意欲的に参加した。

親同士の情報交換の場「いどばた」では兄弟姉妹の障がいについて説明するタイミング等、きょうだい児の子育てならではの話題があがった。家族単位で参加交流するプログラム

である「ふぁみりんこ」は、感染予防のため実施しなかった。

自然体験と様々な家族の出会いと交流を目的とした親子参加型プログラム「いっぽの会」は今年度は実施しなかった。

### 公4-7. 高齢者電話相談事業

「シニアダイヤル」は、高齢者の「孤独な時」の身近な一人になることを目的とした電話相談事業で、28年目を迎えた。

この3年間、外出を控え人と接する機会が減少したことは、シニアの心や体にとって大きな出来事であり、誰かと話ができることで安心するという声も多く聞かれ、このような相談の場の必要性を実感している。相談員の毎月の研修では、オンラインと対面の両方で日頃の電話相談の振り返りを行い専門家の指導を受けた。公開研修としては11月に、女性の身体と心の変化、世代ごとに直面する悩みと向き合い方について高尾美穂先生(医師)にお話しいただいた。3月には相談員研修の一環で、YWCAが大切にしている「いのちを尊び、平和を願う」をテーマに、マンマーで起きていることを市民レベルで活動している保芦宏亮さんにお話しいただいた。

相談員の感染予防のため、2020年度に移動した部屋での活動を継続した。

### 公4-10. 読むことが困難な人々への支援事業 (DAISY)

読むことが困難な人々への支援事業では、新型コロナの感染対策をしつつ、音声デジタイズ制作は各グループで可能な範囲で行い、読むことなくリスナーに届けた。

マルチメディアデジタイズ制作については、ここ数年定期的な会合を積み重ねることが困難だったが、今年度後半から活動を再開し、ゆっくりとした歩みではあるが研鑽を積んだ。

今年度もボランティア拡充のために講習会を企画、3年ぶりに中止や延期、変更等がなく無事に実施できた。発声が必要な講習会を中心に、密をさけるため定員は若干減らして実施をした。

以下の事業は、補助金および助成金事業、または委託事業として実施した（P26 参照）。

#### 公 4-1 療育事業（児童発達支援センター）

「東京YWCAキッズガーデン」は、「放課後等デイサービス」との多機能型として20年目、障がい児支援の地域拠点として相談支援機能を含む児童発達支援センターとなって6年目を迎えた。新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底し、調理・買物・外出プログラムや卒園の会も工夫して実施した。ABA（応用行動分析）をベースとする療育を実践し、質を上げるための研修や実践の仕組みをさらに検討し取り組んだ。幼稚園保育園との併用児が増える中、関係機関との連携や協働に全職員が力を発揮した。また、前年度に続き区内私立幼稚園要支援児の行動観察を依頼され、幼稚園教諭研修も担当した。第三者評価を受審した。

#### 公 4-5 障がい児・者介護事業

「障がい児・者介護事業」は、感染対策を徹底し、居宅介護、重度訪問介護、移動支援の3種類のサービス提供を行った。長引く新型コロナウイルスの影響下で不安を強いられる生活を送る利用者一人ひとりに対し、障がいの個別ニーズに応え、利用者の自立と地域での生活継続の実現のため役割を果たした。

#### 公 4-6 高齢者介護事業

介護保険法に基づく「952」居宅介護支援「訪問介護」を行った。ヘルパー増員により新規依頼に応えられるケースや他事業所からの依頼件数が増えた。週2回の抗原検査を受けつつヘルパー間でサポートをしながら、安定したサービス提供を継続するために努力した。

#### 公 4-8 介護予防体験事業

調布市高齢者健康づくり事業の一環である「ティーポットサロン」は、高齢者が地域で交流の場を持ち、豊かな時間を過ごすことで心身の健康を維持することを目的に実施してきたが、新型コロナウイルスの影響で2年半休止となり、この秋から久しぶりに再開した。様々な感染対策をしながら、少人数での実施となったが、感染状況下で孤立感を強く感じてきた参加者が多く、仲間のおしゃべりや交流を純粋に楽しもうとする姿が印象的であった。

#### 公 4-9 統合保育事業

「東京YWCAまきば保育園」は開園から10年を迎え、記念の親子Tシャツを制作。卒園生や保護者、関係者に寄稿しても

らい、写真や装丁の工夫など思い出が満載の、まきばの保育を振り返る記念誌を作成した。年間行事では、新型コロナ対策が少しずつ緩和され、運動会、秋の子ども広場（オータムフェア）、クリスマス会など、親子で参加できる形に戻すことができた。この3年間、保護者とのコミュニケーションの機会が減ったことを踏まえて、2月後期懇談会では、よりよい保育のために、これまで以上に互いに語り合える場を設けた。

#### 公 4-11 学童保育事業

2009年度に調布市から委託を受け、2015年度より学童クラブ3か所、放課後子供教室（ユーフォー）3カ所の運営をしている。

9月以降は徐々に市内の大きな行事が実施され、感染対策を行いつつ、ドッチビー大会などに参加した。新型コロナウイルスの影響を受け続けてきた子どもたちの、日常の中で起こる小さな変化に気づき、心のケアと保護者対応に努力した。

学童クラブは、布田小学童がこの2年間、市の要請で定員70人に35人を加えた105人で運営したが、校舎の増築に伴って次年度第2学童が校舎内に新設されることが決まり、第1学童は通常の70人定員に戻る事が決まった。

IV-1 療育事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
キッズ ガーデン	延日数	17	18	21	21	18	21	20	20	20	17	19	20	232
	延実績利用者数	313	304	421	353	354	404	388	354	382	347	342	387	4349
	延実習生人数	0	3	11	3	20	9	8	4	0	0	0	12	70
シマウマ くらぶ	延日数	4	3	3	2	3	4	4	2	3	4	4	4	40
	延実績利用者数	43	25	34	20	40	44	45	21	33	44	47	56	452
	延実習生人数	0	2	6	2	0	7	7	3	0	0	0	2	29

\*キッズガーデン:障がい児(未就学児)児童発達支援事業。 シマウマくらぶ:障がいのある小中高生のための放課後等デイサービス(土曜)

キッズガーデン		延回数	延参加者数	シマウマくらぶ		延回数	延参加者数
保護者勉強会		9	15	保護者会		8	95
保護者参加プログラム		13	154	保護者参加プログラム		4	39
統合保育研修会		4	78				
連携訪問		20					

IV-2 発達支援相談事業

児童発達支援センター機能

相談支援		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害児支 援利用計 画	契約数	88	88	88	88	88	88	89	87	87	87	87	87	1052
	請求数	14	9	10	6	14	8	14	11	6	3	23	24	142
サービス等 利用計画	契約数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	請求数	1				1		1		1			1	5

	延回数	延件数
子ども発達支援室(板橋)	11	20
子ども発達支援巡回相談(板橋)	8	8
OT相談室(板橋)	-	-
療育個別相談(国領)	-	-
療育グループ(国領)	-	-

IV-3発達支援体験事業

障がいまたは発達にニーズのある子どものための体験活動

		延回数	延参加者数	延ボランティア数
板橋	サポートプログラム にじいろ教室(陶芸)	12	191	36
	サポートプログラム にじいろ教室(ヨガ&ダンス)	11	73	12
	サポートプログラム にじいろ教室(絵画・造形)	12	65	7
	サポートプログラム にじいろ教室(体操)	12	96	10
	サポートプログラム にじいろ教室(料理)	5	55	14
国領	陶芸(小学生以上対象)(国領)	-	-	
	音楽療法(幼児から中学生)(国領)	-	-	
	サッカークリニック 1(小学生)(国領)	8	51	
	サッカークリニック 2(中学生から)(国領)	8	46	
	カシオベイヤ(集団生活スキル 小学生~中学生)(国領)	-	-	

IV-4 障がい児家族支援体験事業

	延回数	延参加者数	延ボランティア数
障がい児「きょうだいの会」 きらりんこ(きょうだい児対象のプログラム)	4	53	22
障がい児「きょうだいの会」 いどばた(親同士の情報交換の場)	4	26	8
障がい児「きょうだいの会」 ふぁみりんこ(家族で交流するプログラム)	-	-	-
いっぼの会(親子参加型の自然体験プログラム)	-	-	-

IV-5 障がい児・者介護事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	在籍利用者数	22	22	23	22	20	20	19	19	20	20	18	18	243
	実績利用者数	19	20	21	18	17	20	17	17	18	20	15	17	219
訪問回数	居宅介護	88	96	98	94	96	91	93	102	105	83	90	100	1136
	重度訪問介護	6	5	4	5	2	5	0	0	0	0	0	0	27
	移動支援	39	38	49	32	15	39	43	43	41	38	41	41	459
	合計	133	139	151	131	113	135	136	145	146	121	131	141	1622
訪問時間	居宅介護	105.00	130.00	125.00	112.25	115.00	112.50	113.00	124.50	124.25	112.25	114.25	125.25	1413.25
	重度訪問介護	9.00	8.00	6.00	7.50	3.00	7.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	41.00
	移動支援	29.50	39.00	45.00	32.00	23.00	38.50	38.50	50.25	41.25	28.00	38.00	41.83	444.83
	合計	143.50	177.00	176.00	151.75	141.00	158.50	151.50	174.75	165.50	140.25	152.25	167.08	1899.08

IV-6 高齢者介護事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護支援	在籍利用者数	40	40	41	39	40	41	41	41	39	38	43	44	487
	利用実績数	41	41	38	39	40	38	40	40	38	39	40	42	476
	認定調査	0	0	2	0	2	1	1	0	2	2	1	1	12
訪問介護	在籍利用者数	23	26	30	25	26	24	28	32	31	35	33	34	347
	実績利用者数	23	26	30	25	26	23	27	31	31	35	33	34	344
訪問回数	要介護1～5	68	75	86	86	92	95	92	103	103	96	120	113	1129
	要支援1～2	63	70	74	70	69	66	82	101	94	103	96	105	993
	自由契約	2	5	7	5	4	2	2	4	4	6	4	14	59
	合計	133	150	167	161	165	163	176	208	201	205	220	232	2181
訪問時間	要介護1～5	79.5	83.25	88.75	89.5	104.25	114	110.5	120.09	117.25	114.5	133.25	136.75	1291.59
	要支援1～2	56.66	63.25	68.08	65	62.75	61	76	95.75	89.5	97.5	92	102.25	929.74
	自由契約	2.5	6.67	7.5	6.58	4.58	2.25	3.25	4.25	4.25	7.75	2.83	12.17	64.58
	合計	138.66	153.17	164.33	161.08	171.58	177.25	189.75	220.09	211	219.75	228.08	251.17	2285.91

IV-7 高齢者電話相談事業

シニアダイヤル (孤独なときの身近な相談相手としての電話相談)	延開室日数	延相談員数	年間相談件数
	270	351	1240

IV-8 介護予防体験事業

	延回数	延参加者数
ティーポットサロン(地域に開かれた交流の場)	10	140

IV-9 統合保育事業

まきば 保育園 (国領)	年齢	在籍者数(3月末)
	0歳	9
	1歳	16
	2歳	16
	3歳	19
	4歳	18
5歳	19	

※実習生受け入れ(年間延)15人

まきば保育園地域交流事業

子育て相談 (たんぼぼ広場)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延回数		9	10	14	11	0	12	12	12	10	10	14	13	127
延人数		52	64	94	80	0	102	98	131	120	130	134	132	1137

その他の地域交流事業	日にち	参加者
秋の子ども広場	10/29	400

IV-10 読むことが困難な人々への支援事業(DAISY)

ボランティア講習会

講座名	回数	講座日数	講師人数(アシスタント含、延人数)	延参加者数
音訳講習会	1	9	9	141

IV-11 学童保育事業

わいわい(定員70人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍数	70	69	69	69	70	69	69	69	66	66	67	67	820
開所日数	25	23	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	293
延べ利用者数	1047	967	1143	952	959	1001	1036	1006	798	883	853	1061	11706
学童クラブ													
染地小(定員50人)													
在籍数	50	50	49	49	48	48	47	47	47	46	46	50	577
開所日数	25	23	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	293
延べ利用者数	765	737	837	638	610	715	743	755	712	680	687	791	8670
布田小(定員70+35人)													
在籍数	105	105	105	105	105	104	104	105	105	105	105	105	1258
開所日数	25	23	26	19	26	24	25	24	24	23	22	26	287
延べ利用者数	1643	1547	1891	1088	1426	1646	1658	1709	1555	1529	1569	1813	19074
杉森小													
開所日数	24	23	26	25	26	24	24	24	24	23	22	26	291
延べ利用者数	455	496	655	585	244	425	399	440	278	313	419	406	5115
放課後子供教室													
染地小													
開所日数	24	23	26	25	26	24	24	24	24	23	22	26	291
延べ利用者数	130	137	180	208	74	157	186	193	156	114	137	190	1862
布田小													
開所日数	24	22	26	24	26	24	23	24	24	23	22	26	288
延べ利用者数	841	798	863	615	396	554	531	621	588	539	591	660	7597

## V 非営利機関・団体への施設貸与事業

(公益目的事業 事業番号：公5)

この事業は、この法人の目的と共通性のある目的をもつ非営利の機関及び団体にこの法人が所有する施設を貸与する事業です。

東京YWCA会館 2、3 階の貸室 14 室を 11 団体に賃貸した。9 月末に 1 件解約があり 12 室 10 団体となり、10 月から「VII-1 不動産賃貸事業」での契約で空室が埋まった。貸し会議室は非営利団体に講習会やイベント会場として用いられた。

非営利機関・団体優先フロア(賃貸契約)2023 年 3 月末現在

貸与先団体数	10 (12 室)		
貸し会議室(時間貸し)			
貸与先団体数	9	貸与件数	122

## VI 東日本大震災被災者支援事業 (公益目的事業共通)

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に対する被災者支援事業は 12 年目を迎えた。東京近郊に避難している人への支援は、当事者と支援者、行政で組織する広域避難者支援連絡会 in 東京に参加し、オンライン交流会を実施した。愛媛県や岡山県に避難している人とも交流できたことは新鮮だった。震災の風化を防ぐプログラムは、福島在住の写真家で高

等学校美術教員の赤城修司さんが震災直後から福島の日常を撮り続けた写真の中から、12 年間で 1 年 9 枚、計 99 点で振り返る写真展を 3 月 11 日から 1 か月間、東京 YWCA 会館ロビーで開催した。事業変更 (変更認定申請) は 2023 年 3 月 10 日付で認められた。これにより東日本大震災被災者支援事業は、紛争・災害時緊急支援事業として公 1 の事業に移行する。

	日にち・期間	場所	参加人数
福島県新地町役場より来訪	2023/1/27	東京YWCA会館	7 人
赤城修司写真展 「ぼくの見た福島 2011-2023」	2023/3/11~4/11	東京YWCA会館ロビー	入退場自由

## VII 収益事業および共益的な事業

### 1. 不動産賃貸事業

東京YWCA会館 4~8 階のテナントフロアおよび 3 階以下の貸室は通年、満室で推移した。時間貸しの会議室は新型コロナウイルスの影響で利用が減り、予算に達しなかった。

### 2. フィットネスクラブ事業

2020 年春から、新型コロナウイルスの緊急事態宣言等の影響により休業や時間短縮等の制限があったが、今年度はフルに営業することが出来た。メンバー在籍数は各世代共に徐々に伸び、運動講習も水中ウォーキングやアーティスティックスイミングのクラスが好調で事業収入は増加してきた。一方で物価高騰により諸々のコストが増加し、財政状況は依然厳しい。プール場内の整備やスタジオの油圧マシン、レンタル用ロッカー、会員管理システムの入替えを実施して、メンバーへのサービス向上と円滑な運営に努めた。

### 3. 語学事業及び教養講座事業

実施なし。

### 4. 販売事業

東京YWCA会館 1 階に設置の飲料自販機は 9 月に撤去、地下のみ残置。有料コピー機のサービス提供も 3 月で終了。

### 5. 理解普及事業 (会員グループ)

この法人の会員と将来的な会員が、法人の目的と事業に対する理解を深めることを目的に、社会情勢や聖書、語学などの学びを通して、メンバーの親睦を深め、グループワークを通して各人のリーダーシップを培った。感染予防で対面での活動ができない期間が長く続いたことや、メンバーの高齢化や多忙等の事情から、解散するグループが多く出た。3 月に全グループ対象に会員委員会・会員組織プロジェクト主催の懇談会が開催され、今後の事業について話し合った。



Ⅶ 収益事業および共益的な事業

Ⅶ-1 不動産賃貸事業

不動産賃貸(賃貸契約)

貸与先団体数	7
	(10室)

貸し会議室(時間貸し)

貸与先団体数	8
貸与件数	41

ゆかりハウス

貸与先団体数	1
貸与件数	1

Ⅶ-2 フィットネスクラブ事業

在籍数

	延入会者	延退会者	3月末在籍数
フリーコースメンバー	114	85	310
法人メンバー	0	0	1

スクール

クラス	年間実施回数	累計参加者数	クラス	年間実施回数	累計参加者数
アーティスティックスイミングA	43	392	スイミング中級C	42	297
アーティスティックスイミングB	41	713	スイミング中～上級	43	361
アーティスティックスイミングC	44	557	スイミング上級	43	695
アーティスティックスイミングD	40	403	ダイビング	41	258
水中ウォーキングA	43	822	日本泳法基礎	41	382
水中ウォーキングB	42	415	日本泳法A	41	354
水中ウォーキングC	43	486	日本泳法B	43	256
水中ウォーキングM	43	769	身体とココロのコンディショニング	44	554
スイミング カモメ	43	394	身体調整エクササイズ	43	428
スイミング フラミンゴ	42	653	タイチーダンス	41	219
スイミング初級A	43	467	転倒予防エクササイズ	10	290
スイミング初級B	43	255	バーアスティエ&バレエ入門	43	415
スイミング中級A	44	573	バレエ初級	40	232
スイミング中級B	41	558	リンパビクス	42	254

パーソナルレッスン

	延参加者数
スタジオマンツーマンレッスン	434
プールプライベートレッスン	149
ミズノアクア	10

Ⅶ-5 会員グループ(理解普及事業)

グループ登録数	グループ登録者数		
	会員	一般	合計
34	167	38	205

(2023年3月末現在)

## VIII その他

### VIII-1 会員数

	人数
成人会員（18歳以上の女性）	595
年少会員（18歳未満の女性）	1
成人会友（18歳以上の男性）	28
年少会友（18歳未満の男性）	0
賛助会員	25
合計	649

（2023年3月末現在）

### VIII-2 職員数

常勤職員（2023年3月末現在）117人

### VIII-3 事業に参加したボランティア

事業名	ボランティア延人数	ボランティア延時間
I 平和と人権事業		
1 日本で学ぶ外国人留学生支援事業	1623	2430.5
2 留学生助成事業	73	210.0
3 中国帰国者日本語支援事業	61	99.0
4 平和をつくるキャンペーン事業	181	356.5
5 平和と人権に関する人材育成事業	13	26.5
6 NPO/NGO 団体への語学支援	51	102.0
I 合計	2002	3224.0
II 青少年育成事業		
1 教育キャンプ	104	1716.0
3 学習支援	661	1944.5
4 青少年リーダー養成	21	300.0
II 合計	786	3960.5
III 女性の健康事業		
3 障がい児・者の健康づくり	173	259.5
IV 社会福祉に資する事業		
7 高齢者電話相談事業	424	1260.0
10 読むことが困難な人々への支援事業	39	71.0
IV 合計	463	1331.0
合計	3424	8775.0

※単発で行なったプログラムは入っていません。

### VIII-4 出版物

名称	発行回数/年	発行部数	単価	事業
東京YWCA	11	1000	なし	財団管理
Newsletter	2	2200	なし	財団管理
あゆみ88号	1	300	なし	日本で学ぶ留学生支援
東京YWCAまきば保育園10周年記念誌	1	600	なし	統合保育

### VIII-5 世界YWCA・日本YWCA関連の集会および派遣

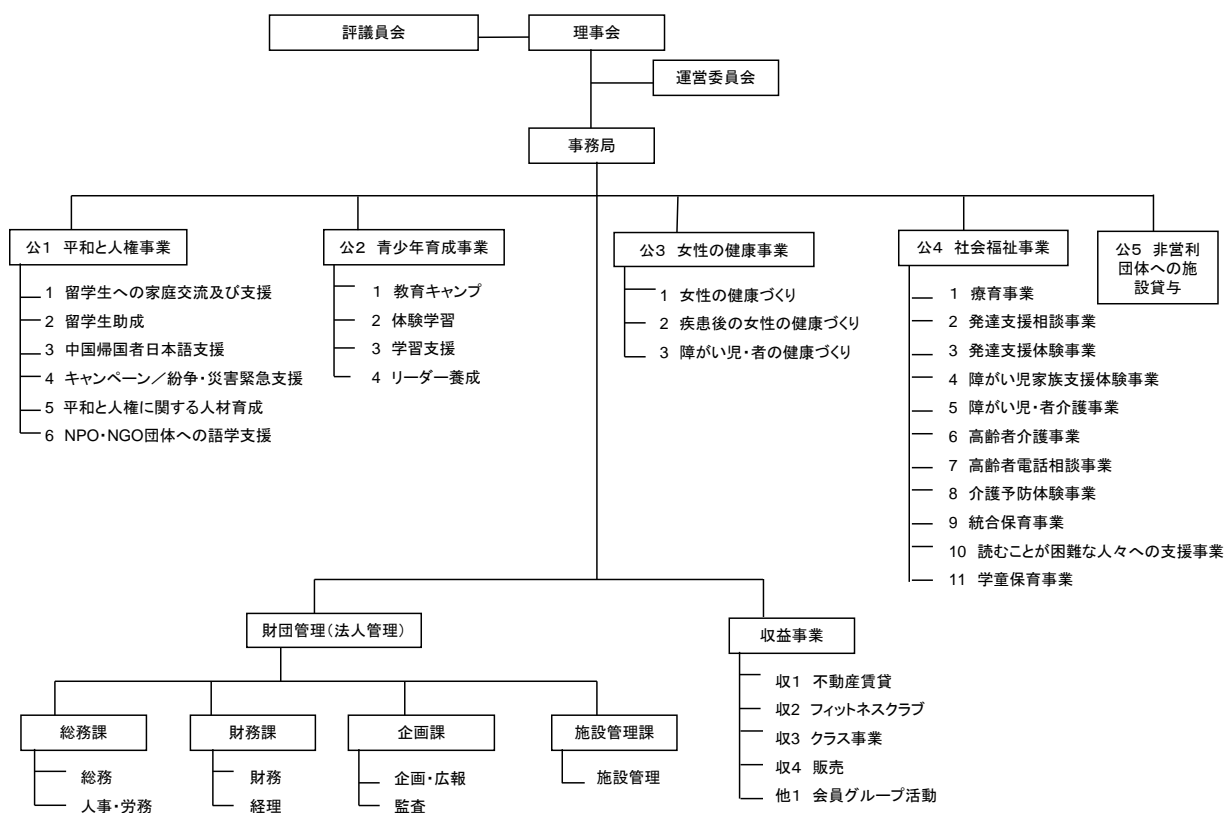
※代議員等の派遣や、法人としての研修派遣等。

なし

### VIII-6 YWCA関連の海外からの来訪者

なし

## ■2022 年度 公益財団法人東京YWCA 組織図



## ■理事・監事 (2023/3/31 現在)

代表理事 栗林和子  
 常務理事 能美祐子  
 理事 稲田恵子 岸 紀子 柴田幸子 寺出壽美子 新美まり 西銘春香 林祥子  
 監事 八木昭子 横川民子

## ■評議員 (2023/3/31 現在)

岩村太郎 及川津紀子 高橋りえ子 新田和子 東平瑞江  
 細貝順子 本田真也 町田洋子 実生律子 桃井和馬 吉岡光人

# 貸借対照表

2023年03月31日現在

公益財団法人東京YWCA

(単位： 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	435,261,822	449,809,169	△14,547,347
未収金	20,090,363	18,596,009	1,494,354
商品	170,976	226,424	△55,448
貯蔵品	17,354	0	17,354
前払費用	176,000	176,000	0
前払金	3,598,384	3,842,360	△243,976
立替金	341	72,000	△71,659
流動資産合計	459,315,240	472,721,962	△13,406,722
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	86,917,089	86,917,089	0
建物	699,731,134	732,702,744	△32,971,610
建物付属設備	501,088	913,280	△412,192
基本財産預金	141,000,000	141,000,000	0
基本財産合計	928,149,311	961,533,113	△33,383,802
(2) 特定資産			
建物	141,083,137	145,868,573	△4,785,436
建物付属設備	42,888,234	48,937,187	△6,048,953
構築物	5,302,278	5,822,761	△520,483
什器備品	2,656,707	3,102,142	△445,435
ソフトウェア	517,000	649,000	△132,000
女性の健康サポート特定資産	15,000,000	15,000,000	0
留学生基金特定資産	26,475,423	26,475,423	0
留学生資金特定資産	3,530,732	3,551,282	△20,550
留学生奨学金特定資産	5,009,205	4,795,189	214,016
会員サポート特定資産	800,000	800,000	0
武蔵野拠点運営費積立資産	26,262,837	28,704,333	△2,441,496
介護職員研修特定資産	768,947	768,947	0
中国帰国者日本語教室特定資産	1,431,161	1,431,161	0

科 目	当年度	前年度	増減
福島の子どもたちをキャンプに呼ぶ特定資産	1,821,638	1,821,638	0
預り敷金積立資産	164,487,360	164,400,510	86,850
フィットネス預り保証金引当資産	2,700,000	3,000,000	△300,000
野外環境教育預り保証金引当資産	9,400,000	9,400,000	0
会館整備費積立資産	172,679,801	172,679,801	0
会館修繕費積立資産	61,814,620	61,814,620	0
板橋センター増改築特定資産	26,772,050	26,772,050	0
保育園施設・設備整備特定資産	60,000,000	60,000,000	0
空調改修工事積立資産	270,000,000	200,000,000	70,000,000
プール設備改修工事積立資産	19,000,000	19,000,000	0
デジタルアーカイブ積立資産	339,003	554,453	△215,450
フィットネスクラブ施設整備特定資産	6,451,940	15,052,400	△8,600,460
女性と少女のための人材育成特定資産	10,200,000	10,200,000	0
教育キャンプ実施と施設整備特定資産	41,000,000	41,000,000	0
プール設備整備特定資産	3,964,091	3,964,091	0
療育事業備品等設備整備特定資産	6,012,040	6,012,040	0
キャンプキャビン雪害工事積立資産	847,000	0	847,000
特定資産合計	1,129,215,204	1,081,577,601	47,637,603
(3) その他固定資産			
土地	1,993,095	1,993,095	0
建物	166,472,366	173,721,261	△7,248,895
建物付属設備	191,524,941	206,312,720	△14,787,779
構築物	2,008,299	2,465,388	△457,089
車両運搬具	204,167	2	204,165
什器備品	1,234,142	1,147,818	86,324
リース資産	11,739,057	0	11,739,057
ソフトウェア	4	4	0
図書	0	1,761,120	△1,761,120
電話加入権	0	2,395,068	△2,395,068
差入保証金	50,000	50,000	0
差入敷金	800,000	800,000	0
出資金	30,000	30,000	0
その他固定資産合計	376,056,071	390,676,476	△14,620,405
固定資産合計	2,433,420,586	2,433,787,190	△366,604
資産合計	2,892,735,826	2,906,509,152	△13,773,326
Ⅱ 負債の部			

科 目	当年度	前年度	増減
1. 流動負債			
未払金	30,280,232	33,726,302	△3,446,070
未払法人税等	23,850,300	22,556,400	1,293,900
未払消費税等	9,261,100	5,835,975	3,425,125
前受金	7,574,980	6,912,760	662,220
預り金	2,733,920	1,803,570	930,350
1年内返済予定長期借入金	2,760,000	2,760,000	0
1年内返済予定リース債務	2,703,756	0	2,703,756
流動負債合計	79,164,288	73,595,007	5,569,281
2. 固定負債			
長期借入金	23,690,000	26,450,000	△2,760,000
預り保証金	12,100,000	12,400,000	△300,000
預り敷金	164,487,360	164,400,510	86,850
長期リース債務	9,035,301	0	9,035,301
固定負債合計	209,312,661	203,250,510	6,062,151
負債合計	288,476,949	276,845,517	11,631,432
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	392,357,912	402,398,305	△10,040,393
補助金・助成金	125,748,947	115,760,671	9,988,276
指定正味財産合計	518,106,859	518,158,976	△52,117
（うち基本財産への充当額）	(152,660,062)	(155,757,888)	(△3,097,826)
（うち特定資産への充当額）	(365,446,797)	(362,401,088)	(3,045,709)
2. 一般正味財産	2,086,152,018	2,111,504,659	△25,352,641
（うち基本財産への充当額）	(775,489,249)	(805,775,225)	(△30,285,976)
（うち特定資産への充当額）	(587,181,047)	(542,376,003)	(44,805,044)
正味財産合計	2,604,258,877	2,629,663,635	△25,404,758
負債及び正味財産合計	2,892,735,826	2,906,509,152	△13,773,326

# 正味財産増減計算書

2022年04月01日から2023年03月31日

公益財団法人東京YWCA

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,800	2,800	0
基本財産受取利息	2,800	2,800	0
特定資産運用益	55,542	3,792	51,750
特定資産受取利息	1,495	1,495	0
特定資産有価証券利息	52,750	1,000	51,750
特定資産受取利息振替額	1,297	1,297	0
受取会費	3,634,000	3,708,100	△ 74,100
成人受取会費	3,109,500	3,316,100	△ 206,600
年少会員受取会費	1,500	2,000	△ 500
成人会友受取会費	138,000	120,000	18,000
賛助会員受取会費	385,000	270,000	115,000
事業収益	558,409,920	524,967,242	33,442,678
登録費収益	2,930,600	2,980,700	△ 50,100
授業料・講習料収益	46,687,294	34,860,586	11,826,708
フィットネス会費収益	72,720,780	63,492,915	9,227,865
利用料収益	10,991,910	9,652,820	1,339,090
教材費収益	41,800	0	41,800
手数料収益	202,164	192,352	9,812
売上収益	902,280	355,850	546,430
施設設備利用料収益	4,622,342	4,301,182	321,160
賃貸料収益	322,935,933	323,918,839	△ 982,906
障がい児者支援費収益	80,485,888	73,359,897	7,125,991
障がい児者利用負担金収益	1,977,459	777,171	1,200,288
相談料収益	84,500	112,500	△ 28,000
高齢者介護報酬収益	12,660,729	10,038,010	2,622,719
高齢者利用負担金収益	1,102,991	839,170	263,821
高齢者受託収益	63,250	85,250	△ 22,000
受取補助金等	364,611,834	359,480,504	5,131,330
受取国庫補助金助成金	42,000	42,000	0

受取地方補助金 助成金	101,598,410	102,598,420	△ 1,000,010
受取民間補助金助成金	1,859,970	2,211,204	△ 351,234
受取受託収益	253,657,130	245,072,584	8,584,546
受取支援金	2,442,600	4,490,000	△ 2,047,400
受取補助金等振替額	5,011,724	5,066,296	△ 54,572
受取寄付金	19,357,256	23,607,529	△ 4,250,273
受取寄付金	7,359,191	10,614,097	△ 3,254,906
受取寄付金振替額	11,998,065	12,993,432	△ 995,367
雑収益	11,944,038	7,751,995	4,192,043
受取利息	11,802	11,272	530
その他雑収益	11,784,236	7,686,723	4,097,513
受入研修費収益	148,000	54,000	94,000
経常収益計	958,015,390	919,521,962	38,493,428
(2) 経常費用			
事業費	918,285,707	874,605,679	43,680,028
職員給料手当	98,113,140	95,080,249	3,032,891
職員通勤手当	3,519,152	3,519,432	△ 280
職員法定福利費	16,448,354	16,048,696	399,658
職員中退共退職金	3,226,400	4,032,731	△ 806,331
教員給料手当	199,103,399	190,607,481	8,495,918
教員通勤手当	5,088,120	5,314,769	△ 226,649
教員法定福利費	30,122,338	29,048,520	1,073,818
教員中退共退職金	7,986,320	7,695,440	290,880
非常勤給料手当	125,937,110	112,394,991	13,542,119
非常勤通勤手当	4,761,618	4,747,688	13,930
非常勤法定福利費	6,390,201	4,381,239	2,008,962
福利厚生費	1,854,923	1,995,432	△ 140,509
手数料	6,602,538	5,040,687	1,561,851
委託費	48,577,992	45,290,442	3,287,550
支払報酬	10,672,451	9,878,562	793,889
消耗品費	12,626,967	11,209,976	1,416,991
消耗備品費	1,924,593	589,996	1,334,597
食材費	10,085,571	8,473,233	1,612,338
旅費交通費	3,835,484	1,574,492	2,260,992
通信運搬費	6,008,251	5,823,239	185,012
印刷製本費	873,569	364,205	509,364
広告宣伝費	23,100	40,040	△ 16,940
会議費	257,838	267,427	△ 9,589



渉外費	11,900	1,000	10,900
諸会費	386,000	344,218	41,782
教材費	3,163,633	3,150,363	13,270
新聞図書費	312,419	190,514	121,905
研修費	195,226	316,848	△ 121,622
賃借料	3,277,612	2,735,057	542,555
リース料	9,052,186	9,331,152	△ 278,966
仕入費	732,393	200,180	532,213
修繕費	6,679,973	14,923,405	△ 8,243,432
衛生清掃費	19,896,319	18,874,970	1,021,349
光熱水費	59,371,180	56,769,257	2,601,923
保険料	3,515,205	3,247,129	268,076
公租公課	116,647,932	111,858,649	4,789,283
支払寄付金	1,000	1,000	0
保守点検料	12,668,669	9,258,666	3,410,003
奨学給付費	1,440,000	2,440,000	△ 1,000,000
支払利息	335,340	368,460	△ 33,120
雑費	1,076,165	898,612	177,553
減価償却費	75,483,126	76,277,232	△ 794,106
管理費	44,914,966	41,553,938	3,361,028
職員給料手当	17,593,239	16,843,968	749,271
職員通勤手当	569,272	569,761	△ 489
職員法定福利費	2,809,207	2,908,874	△ 99,667
職員中退共退職金	315,600	432,609	△ 117,009
非常勤給料手当	459,680	534,607	△ 74,927
非常勤通勤手当	8,490	17,952	△ 9,462
非常勤法定福利費	10,595	7,277	3,318
福利厚生費	493,378	160,614	332,764
手数料	2,254,093	791,759	1,462,334
委託費	3,207,727	3,206,345	1,382
支払報酬	1,993,259	1,362,618	630,641
消耗品費	1,035,834	596,270	439,564
消耗備品費	0	6,138	△ 6,138
旅費交通費	85,186	75,138	10,048
通信運搬費	1,398,936	1,668,564	△ 269,628
印刷製本費	2,075,105	2,196,594	△ 121,489
会議費	3,836	1,918	1,918
渉外費	39,326	11,046	28,280

諸会費	44,800	44,482	318
加盟分担金	4,071,000	4,490,000	△ 419,000
新聞図書費	17,262	16,867	395
研修費	192,240	50,000	142,240
賃借料	103,373	105,793	△ 2,420
リース料	444,786	645,940	△ 201,154
修繕費	43,130	72,259	△ 29,129
衛生清掃費	316,230	316,493	△ 263
光熱水費	1,587,965	1,553,588	34,377
保険料	329,172	306,808	22,364
公租公課	1,404,058	1,369,306	34,752
保守点検料	1,110,502	363,806	746,696
雑費	12,650	29,028	△ 16,378
減価償却費	885,035	797,516	87,519
経常費用計	963,200,673	916,159,617	47,041,056
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,185,283	3,362,345	△ 8,547,628
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,185,283	3,362,345	△ 8,547,628
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他の雑収益	531,975	2,007,900	△ 1,475,925
還付金	411,200	2,007,900	△ 1,596,700
その他雑収益	120,775	0	120,775
固定資産売却益	9,999	0	9,999
什器備品売却益	9,999	0	9,999
経常外収益計	541,974	2,007,900	△ 1,465,926
(2) 経常外費用			
その他の雑損失	485,800	0	485,800
雑損失	485,800	0	485,800
固定資産除却損	4,263,532	5	4,263,527
建物付属設備除却損	107,338	1	107,337
車両運搬具除却損	2	0	2
什器備品除却損	4	4	0
図書除却損	1,761,120	0	1,761,120
電話加入権除却損	2,395,068	0	2,395,068

受取補助金等返還額	960,000	536,000	424,000
経常外費用計	5,709,332	536,005	5,173,327
当期経常外増減額	△ 5,167,358	1,471,895	△ 6,639,253
当期一般正味財産増減額	△ 10,352,641	4,834,240	△ 15,186,881
一般正味財産期首残高	2,111,504,659	2,106,670,419	4,834,240
指定正味財産への組入額	△ 15,000,000	0	△ 15,000,000
一般正味財産期末残高	2,086,152,018	2,111,504,659	△ 25,352,641
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
特定資産運用益	1,297	1,297	0
特定資産受取利息	1,297	1,297	0
受取寄附金	1,957,672	2,064,611	△ 106,939
受取寄附金	1,957,672	2,064,611	△ 106,939
一般正味財産への振替額	△ 17,011,086	△ 18,061,025	1,049,939
一般正味財産への振替額	△ 17,011,086	△ 18,061,025	1,049,939
当期指定正味財産増減額	△ 15,052,117	△ 15,995,117	943,000
指定正味財産期首残高	518,158,976	534,154,093	△ 15,995,117
一般正味財産からの組入額	15,000,000	0	15,000,000
指定正味財産期末残高	518,106,859	518,158,976	△ 52,117
<b>III 正味財産期末残高</b>	2,604,258,877	2,629,663,635	△ 25,404,758

## 補助金及び助成金

2022年4月1日から2023年3月31日

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
<b>国庫補助金</b>						
(総務)短期間障害者雇用 特例給付金	厚生労働省	0	42,000	42,000	0	
<b>地方公共団体補助金助成金</b>						
(公1:平和と人権)東京ウィメンズプラザ配偶者暴力防止等民間活動助成事業	東京都	0	151,000	151,000	0	
(公4)調布市民間保育所等運営費等補助金	調布市	60,000,000	56,288,910	56,288,910	60,000,000	特定資産
(公4)調布市延長保育事業費補助金	調布市	0	600,000	600,000	0	
(公4)東京都保育士等キャリアアップ補助金	東京都	0	11,378,000	11,378,000	0	
(公4)東京都保育サービス推進事業補助金	東京都	0	6,029,000	6,029,000	0	
(公4)調布市運営費等補助金(市基準・運営費)子育て広場	調布市	0	1,600,000	1,600,000	0	
(公4)調布市保全樹木等せん定補助金	調布市	0	126,500	126,500	0	
(公4)調布市保全地区等の保全に関する補助金(保護樹)	調布市	0	76,000	76,000	0	
(公4)調布市高齢者健康づくり事業補助金	調布市	0	376,000	376,000	0	
(公4)保育施設等新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業費補助金	調布市	0	750,000	750,000	0	
(公4)板橋区障がい児療育訓練事業補助金	板橋区	0	8,483,000	8,483,000	0	
(公4)板橋区児童発達支援センターサービス推進事業補助金	板橋区	0	15,034,000	15,034,000	0	
(公4)児童発達支援センター地域支援体制確保事業補助金	東京都	0	286,000	286,000	0	
(公4)板橋区障がい者(児)福祉施設物価高騰対策支援金	板橋区	0	420,000	420,000	0	
<b>民間補助金助成金</b>						
(公1:平和と人権)支援者エンパワメントプログラムのためにパブリックリソース財団(Give one*サイト)	(公財)パブリックリソース財団	0	137,230	137,230	0	
(公2:学習支援)赤い羽根「外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」	(福)中央共同募金会	0	940,000	940,000	0	
(公3)東京都共同募金会配分金 肢体不自由者水泳指導のために	(福)東京都共同募金会	0	300,000	300,000	0	
(公4:保育園)独立行政法人福祉医療機構借入金利子補給費	(公財)東京都福祉保健財団	0	335,340	335,340	0	
(公4:保育園)クラブサークル活動助成金	(福)福利厚生センター	0	20,000	20,000	0	
(公4:保育園)生活習慣病予防健診助成金	(福)福利厚生センター	0	47,400	47,400	0	
(公5:被災者支援)2022年度日本YWCAリフレッシュプログラム代替事業に関する補助金	(公財)日本YWCA	0	80,000	80,000	0	
合 計		60,000,000	103,500,380	103,500,380	60,000,000	

## 事業を行っている主な拠点

---

<b>東京YWCA会館</b>	〒101-0062	東京都千代田区神田駿河台 1-8-11
	TEL	03-3293-5421 (代表) FAX 03-3293-5570
<hr/>		
<b>東京YWCA板橋センター</b>	〒174-0043	東京都板橋区坂下 1-34-25
	TEL	03-5914-1854 FAX 03-5914-1852
<hr/>		
<b>東京YWCA国領センター</b>	〒182-0022	東京都調布市国領町 7-11-1
	TEL	042-483-5151 FAX 042-483-5207
<hr/>		
<b>東京YWCA武蔵野センター</b>	〒180-0004	東京都武蔵野市吉祥寺本町 4-9-28
	TEL	0422-27-5871 FAX 0422-27-5872
<hr/>		
<b>東京YWCA野尻キャンプ場</b>	〒389-1312	長野県上水内郡信濃町富濃 3946
	TEL	026-255-2414

---

## 公益財団法人東京YWCA

URL: <https://www.tokyo.ywca.or.jp/>

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11

2023年6月発行